

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	現代社会B		
科目基礎情報							
科目番号	0058		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	機械工学科		対象学年	3			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	『高等学校 新現代社会』帝国書院						
担当教員	小谷 俊博						
到達目標							
現代社会を構成するさまざまな制度を理解し、さまざまな情報から、より信頼できる情報を取捨選択できる力を養う。現代社会Bでは、政治や経済などの基本的な仕組みを理解することで、ニュース等で扱われている内容を適切に理解し、進んで学んでいけるようになることを目標とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	政治の仕組みについて、教科書に記載されている内容を超えて説明できる		政治の仕組みについて、教科書に記載されている内容に即して理解できる		政治の仕組みについて、教科書に記載されている内容を理解できない		
評価項目2	経済の仕組みについて、教科書に記載されている内容を超えて説明できる		経済の仕組みについて、教科書に記載されている内容に即して理解できる		経済の仕組みについて、教科書に記載されている内容を理解できない		
評価項目3	思春期の課題について主体的に考えることができる		思春期の課題について、課題の意味を理解できる		思春期の課題が何かを理解できない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	現代社会の問題の中で、三権分立の問題から始まり、経済活動とは何か、企業の役割、労働者の権利、消費者のあり方などを学ぶ。						
授業の進め方・方法	基本的には、ポイントをまとめたスライドを参考に、教科書を理解することを目指して授業を進めていく。この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習として180分を目安とした自学自習が求められる。						
注意点	自学自習の中で、時事問題を調べることを求めるので、注意してほしい。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション	授業の方針を理解する。			
		2週	国民主権と議会制民主主義	政治における国民主権から権力分立までを理解する。			
		3週	国会のしくみと役割	国会の役割から課題までを理解する。			
		4週	内閣と行政の役割と責任	議院内閣制のしくみから行政の課題までを理解する。			
		5週	司法の役割と責任	司法の役割から司法制度改革までを理解する。			
		6週	地方自治の役割/政党政治のしくみとマスメディア	地方自治の考え方から世論とマスメディアまでを理解する。			
		7週	選挙制度とその課題	国民の政治参加から日本の選挙制度とその課題までを理解する。			
		8週	経済活動と市場経済の考え方	経済活動と私たちの生活から経済の循環と分業			
	4thQ	9週	市場のメリットと限界	市場経済と価格から市場の失敗までを理解する。			
		10週	経済の変動	GDPから景気変動と物価変動までを理解する。			
		11週	企業の役割/中小企業と農業の問題	企業活動の目的から食料自給率の問題までを理解する。			
		12週	金融の役割	金融の役割から現状と課題までを理解する。			
		13週	政府と財政の役割/財政の課題	市場における政府の役割から税制の問題までを理解する。			
		14週	自立した消費者へ	市場経済における消費者から今日の消費者問題までを理解する			
		15週	労働者の権利と労働問題/社会保障の考え方	市場経済における労働から福祉社会の実現までを理解する。			
		16週					
評価割合							
	レポート	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0